イベント情<mark>報カレンダ</mark>ー

8月

- ●8/4 (日)
- 特別ワークショップ(岩城少年自然の家)
- ●8/6 (火)
- ゆり支援学校 ~ みんな元気プロジェクト
- 木工ワークショップ(本荘こけし菅原修)
- ●8/28 (水) 臨時休館日

- 10月
- 特別ワークショップ(岩城少年自然の家)
- ●9/10 (火) -11 (水)
- 特別休館日

●9/1 (日)

- ●9/29 (日) 木育インストラクター養成講座
- ●10/6 (日)
- ●10/18 (金)

秋の木育おもちゃまつり

おもちゃ美術館館長会議 (東京おもちゃ美術館)

※日程・プログラムは変更になる場合がございます。詳しくはお問合せください。

TOY

日本全国各地の豊かな自然とその土地に伝 わる文化を「おもちゃ」や「遊び」を通して、 受け継ぎ、育む空間である「おもちゃ美術館」 が全国に広がっています。

鳥海山 木のおもちゃ美術館は全国で 4 館目 としてオープンしました。今後も全国で設 立が検討されています。

東京おもちゃ美術館

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-20 四谷ひろば内 http://goodtoy.org/ttm/

やんばる森のおもちゃ美術館 〒905-1411 沖縄県国頭村字辺土名 1094-1 http://www.kunigami-forest-park.org/

長門おもちゃ美術館 〒759-4106 山口県長門市仙崎4297-1 https://nagato-toymuseum.com/

「一口館長」 募集のご案内 館内にお名前が残ります

おもちゃと遊びはも ちろん、由利本荘市の 魅力を伝え、また多世

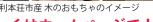
代交流の架け橋とな る活動を応援・支援 し、「一口館長」となっ 鳥海山をモチーフにし ていただける方を募



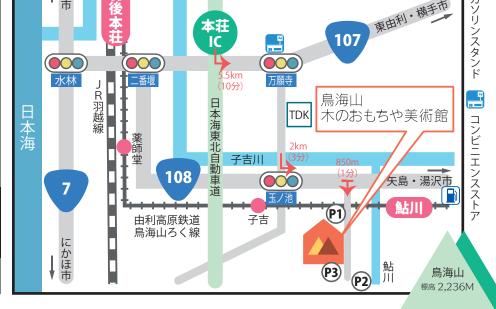
た積み木が届き、館内 にはお名前入りのフ レームが飾られます。







詳しくはホームページで!



鳥海山木のおもちや美術館

〒015-0363 秋田県由利本荘市町村字鳴瀬台65-1 旧鮎川小学校

mhttp://chokaisan-wtm.jp

鳥海山木のおもちゃ美術館







発 行: 特定非営利活動法人 由利本荘木育推進協会 〒015-0363 秋田県由利本荘市町村字鳴瀬台65-1 Tel 0184-74-9070 Fax 0184-74-9079 www.yurihonjo-mokuiku.jp info@yurihonjo-mokuiku.jp

発行日: 2019年7月25日



ゆりほんじょう木育通信





鳥海山木のおもちゃ美術館

「開館1周年木育おもちゃまつり」開催!

おかげさまで鳥海山木のおもちゃ美術館は7月1日、開館1周年を迎えました。当初の予想を上回る入館者数で8月 には 10 万人に達する見込みです。当 NPO 法人にとって核となる事業であり、これから 5 年、10 年と運営を続けていく うえで、実地でトライアンドエラーを繰り返しながら多くのことを学び、感じた1年でした。とはいえ、ようやく1歳になっ たばかりの施設。これからもスタッフ一同、お客様に長く愛される施設になるよう、日々努めて参ります。

そして、6月30日には「開館1周年木育おもちゃまつり」を開催しました。木工室では本荘こけしと本荘組子のワー クショップが行われ、由利本荘の民工芸品づくリをプロに教わりながら体験できる貴重な機会にたくさんの親子が参加し て楽しんでいただきました。また、もりのあそびばでおもちゃ学芸員を中心に行った演奏会では、子どもたちもおもちゃ や楽器を持って、リズムにあわせて楽しく音を奏でていました。さらに、クラスルームでは西滝沢水辺プラザ、Ayuka+、 NPO 法人逢いに出店いただき、軽食や雑貨を販売する「あゆかわマーケット」を開催し、多くのお客様で賑わいました。 そのほかにも様々な特別プログラムで1周年を祝いました。







もりのあそびばでの演奏会

職員室が「キッチンカフェ kino (キノ)」に

もともと職員室だったお部屋が、おいしい食事と憩いのお部屋に生まれ変わりました。壁には閉校当時の先生方のお名前や3月のスケジュールがそのまま掲示されています。職員室の雰囲気を残しながらも、木の優しさに包まれたカフェです。自慢のかまどで炊いたご飯で握ったおにぎりや本荘うどん、ゆり根うどんを中心に、デザートやドリンクなど多彩なメニューを取り揃えています。朝から遊んで、ゆっくりご飯を食べて、また遊ぶ。そんな過ごし方をしてくださる方も多くいらっしゃいます。もちろんお食事だけのご利用も可能です。お食事に、ご休憩に、ご来館の際はぜひお立ち寄りください。













PickUp! 地元由利本荘の木工職人の技術が随所に

kino の内装や什器は由利本荘市の木工職人の技術が随所に詰まっています。まずは、壁の本荘組子レリーフ。こちらは齊藤建具製作所 齊藤重太郎さんの作品です。椅子やテーブルはfuuukei 佐々木貴充さん、照明のフードは木工舎つきのわ岡本雄さん、カウンターは齊藤重太郎さんの作品です。こちらもぜひご注目ください。









OLUMN

国登録有形文化財「旧鮎川小学校」

旧鮎川小学校は、秋田県由利本荘市由利地区(旧由利町)に所在し、昭和29年(1954年)、旧鮎川中学校として新設され、昭和45年(1970年)に同中学校が由利中学校に統合されたあと、鮎川小学校が移転し、平成16年(2004年)に同小学校が由利小学校に統合されるまで、50年間使用された木造校舎です。昭和28年、29年の2年にわたって建設され、総事業費29,959,494円は当時の村の2年分の総予算の74%にあたります。そのことからも校舎建設に向けた村民の期待と情熱を感じ取ることができます。しかも国庫補助はありませんでした。

校舎は東西方向に平行に伸びる教室棟三棟と屋内運動場で構成されています。校長室のある中央校舎等を中心として、両側に均等に校舎等を配置した左右対称構造であり、妻部を特徴的にして高さを強調した屋内運動場を北側配置し、四棟すべての切妻を校庭側に向けるなど、全体の均衡を意識して設計されています。

明治末期から大正期の校舎の建築様式を引き継いだ昭和 20 年代の数少ない 木造校舎であるとともに、建築当時の規模のまま、その大部分を今日まで維持 してきた全国的にも希少な校舎であり、その規模は現存する木造校舎では秋田 県最大級です。また、秋田杉の木目を活かした床や壁、天井や建具など、和風 を強調しながらもモダンにデザインした、建築当時の特徴が残されている調和 の取れた美しい校舎です。





INTERVIEW

地域の宝を残し、活用していく

熊谷 甚悦 (NPO 法人 由利本荘木育推進協会 理事長)

地元由利地域の出身で長く地域行政に携わってきた熊谷さんは、由利本荘市おもちゃ美術館推進事務局の一員として整備・開館にご尽力されました。そして、この5月にNPO法人由利本荘木育推進協会の理事長に就任されました。

Q. 鮎川小学校とはこれまでも関わりがあったそうですが?

熊谷甚悦さん(以下、熊谷) 平成16年3月末で鮎川小学校が 閉校になった当時は旧由利町役場総務課で管財担当をしてお り、16年4月に今までの教育財産(学校)から特に利用目的が ない普通財産となり管財担当の所管に移ってきたため、業務 として校舎建物や周辺環境の維持管理に携わるようになって から関わりを持つようになりました。

その後、鮎の風実行員会の事務局も担当するようになり、単なる維持管理だけでなく校舎建物の定期的な利活用や、校舎裏の「あゆの森」など周辺環境の整備にも協力してきました。

Q. 国登録有形文化財を保存し管理する難しさは?

熊谷 登録文化財は、将来的に重要文化財になる可能性もあり、非常に貴重で大切な建物を市や地域住民の方から管理を任されております。したがって、安易(勝手)に改造や改修もできないものであり市や市教委と事前の協議を行い、了解を頂いた範囲内で改修等を行う必要があることから、お客様のニーズにすぐに答えることが出来ないことや、改修そのものが

困難な場合もあることです。

Q. 運営していく上で今後の目標は?

熊谷 せっかく「木のおもちゃ美術館」という施設名称を名乗っていることから、今まで以上に木工室の利活用を積極的に行いたいと考えております。そのため、おもちゃ学芸員や地域住民を対象にした「木工部」や「木工クラブ」を早急に立ち上げ、年度内には木工室利用者のサポーター(ボランティアスタッフ)養成に取り掛かりたいと考えております。

また、移動木のおもちゃ美術館の市内巡回・開設(貸出)回数も増やしていけたらと思います。



熊谷 甚悦

NPO 法人由利本荘木育推進協会 理事長 1956 年生まれ

秋田県由利本荘市出身・在住